

令和3年第10回 吉田町教育委員会

- 1 開催期日 令和3年9月24日(金)
開会 午後 1時30分
閉会 午後 4時10分
- 2 場 所 吉田町役場 町民ホール
- 3 出席委員 塚本 成男 北澤 雅恵
増田 真也 大石 敦史
- 4 議場に出席した者の職氏名 教 育 長 山田 泰巳
学校教育課長 糸田 真男 生涯学習課長 内田 宏一
主席指導主事 水嶋 浩之 指 導 主 事 平井 奉子
指 導 主 事 谷澤 宏昭 学校教育課統括 山村 加奈子
学校教育課統括 山内 康弘
- 5 傍聴人数 0人

次 第 (会議録概要)

- 1 開 会
- 2 教育長の報告 資料No.1
- (1) 報告事項 9月の教育委員会の行事について
- (2) 町内教職員の状況 休職者の教員について
- (3) その他 緊急事態宣言発令中の学校教育活動、新型コロナワクチン接種について
- 3 会議録署名委員の指名 大石委員
- 4 議 事
- (1) 報告事項
- ア 生徒指導について 【非公開】 資料No.2
- イ 令和3年度就学援助費の認定について 【非公開】 資料No.2
- ウ 令和3年度学力・学習状況調査について 【10月末まで非公開】 資料No.3

【質疑】・分析結果の公表は。⇒ 11月に公表予定

(2) 協議事項

ア TCPトリビンスプランについて 資料No.4

(委員からの質疑・意見)

- ・この資料は、TCPトリビンスプランの現時点での状況か。⇒ そのとおり。
- ・このプランで、ハード面は整えられたが、実際にそれをどう使いこなしていくか。効果的に子供たちのために使えていて、一定の成果が上がっているかが、次の課題と感じた。
- ・近隣の市町よりも、教員補助などの人員の配置が充実していて理想である。しかしながら、人がいればいいということが、必ずしも教育効果が上がるということではないというのもあると思う。教員の数があれば、子供は細かく見れるとは思いますが、いる分だけ職員間での連携は、たくさんやらなくてはならないので、そこに難しさが出る。その連携する打ち合わせの時間をどうするのか。そういうところが少ない人数の方がやりやすい。
- ・推進体制で、TCPトリビンスプラン実施委員会をはじめ、これだけの会議が開催されているのは、本当にありがたいと思う。この体制が目標の達成に近づいていたり、達成できていたりということになっていると思う。
- ・プランの三者共益のうち、一番大切なのは、子供の確かな学力を保障する環境づくりだと思うが、このまま進んでいけばいいのではと思うがどうか。⇒ ハード面での整備は充実しているので、これを教育の充実はどう効果的に使っていくのか、授業日の平準化も、現場ではだんだんできてきている感じを持っている。これで進めていけば、結果として子供の学力も、教員の技能の向上も期待できると感じている。
- ・この資料のそれぞれの項目にある指標への評価を出して、プランを見ていかなければいけないのではないかなと思う。残業時間が減っているとか、授業日数が増えているなど。⇒ 実際の指標及び教職員や保護者のアンケート結果で示すように検討する。
- ・小中学校のつながりのある教育及び教科担任制についての現状と課題について
⇒ 小中学校のつながりのある教育は、吉田探究を軸に据えて、小中でつながっていこうという理念は少しずつできつつある。効果的な実践は、模索している最中である。教科担任制については、今は各校で、どういうやり方が現実的なのか、

どういうところが課題なのか、人の数なのか、それとも教科なのか、学校規模なのか、研究をしている段階である。

- ・コミュニティ・スクールの現状について ⇒ 学校評議員制度は今年度をもって廃止、来年度は学校運営協議会を発足し、地域の人材の中からコミュニティ・スクール・ディレクターを雇い、各学校でその人選を進めている。

5 その他

- ・令和3年第3回吉田町議会定例会について
- ・今後の教育委員会等の予定について

6 閉 会